

科目名 (科目番号)	臨床検査総論Ⅱ (102221)	教員名 稲田 政則	学科等	臨床検査	必修	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		前期水5 後期水2	B320研究室	
授業概要	臨床検査総論Ⅰや臨床検査総論実習、臨地実習で習得した知識を整理し、臨床検査技師として求められる知識、技術を統合する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	検査項目の選択	到達目標:臨床検査項目を体系化し、その使い分けを理解する。 学習内容:検査項目の全体像を概観し、臨床的意義に基づき類型化を試みる。				
	2	診断的価値	到達目標:検査法の診断的価値の評価法を理解する。 学習内容:検査法の研究開発、基準範囲の設定法を復習する。				
	3	検査マネジメント	到達目標:過誤を防ぎつつ、効果的・効率的な検査実務の在り方を理解する。 学習内容:自動化が進みつつ人的作業が共存する環境における最適なマネジメントを学ぶ。				
	4	検査機器	到達目標:各種計量器具、自動分析装置の特性を理解する。 学習内容:臨床検査で使われる器具や装置について、これまでの学内実習・臨地実習を振り返りながら、広く復習する。				
	5	尿定性検査・特殊検査	到達目標:尿検査の項目、測定法、意義、問題点を理解する。 学習内容:尿試験紙法項目や尿特殊検査項目について、これまでの学内実習・臨地実習を振り返りながら、広く復習する。				
	6	尿沈渣検査	到達目標:尿沈渣成分の形態や出現する背景を理解する。 学習内容:尿中有形成分について、これまでの学内実習・臨地実習を振り返りながら、広く復習する。				
	7	便検査・髄液検査	到達目標:便潜血検査および髄液検査の意義について理解する。 学習内容:大腸がん検診としての便潜血検査の価値、緊急性の高い髄液検査の診断的価値について、病態にまで踏み込んで復習する。				
	8	医動物学的検査	到達目標:寄生虫症、原虫症について理解する。 学習内容:人体に害を及ぼす寄生虫から衛生動物によって媒介される原虫まで、広く復習する。				
成績評価の方法・基準	定期試験 (100%)						
教科書	一般検査学	三村邦裕・宿谷賢一(編)			医歯薬出版		
参考図書	尿沈渣検査法2010 髄液検査技術教本	日本臨床衛生検査技師会 日本臨床衛生検査技師会			日本臨床衛生検査技師会 日本臨床衛生検査技師会		
教員からのメッセージ	臨地実習において尿沈渣鏡検を中心に一般検査を学んだことと思います。その経験に知識を補強しつつ、国家試験に対応できる水準に到達してください。						